

理学部

学部のアドミッション・ポリシー(AP: 入学者受入の方針)

<求める入学者像>

科学は、数理、自然および生命を支配する原理や法則を探求する学問であり、身の回りの何故に対する合理的な答えを知りたいという知的好奇心が積み重なって発展してきました。理学部は、科学の5 基幹分野(数学、物理学、化学、生物学、地球科学)に対応して5学科を設置し、先端研究・学術推進機構の沿岸環境科学研究センター、地球深部ダイナミクス研究センター、プロテオサイエンスセンター、宇宙進化研究センター、学術支援センター、総合情報メディアセンターと協働して、科学を体系的に学び幅広い応用力を身につけて社会に役立てたいと考える学生を受け入れ、教育し社会に送り出しています。

この目的のために、理学部では次のような資質を有する学生を求めます。

1. (学力の基盤) 高等学校レベルの数学および自然科学を修めており、学士課程の理学を自律的に学ぶための用意が十分にできている。
2. (論理的思考力) 物事を論理的に考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現することができる。
3. (科学に生きる意志) 社会、文化、地球環境保全のために科学・科学技術を役立てたいと志している。

学部のカリキュラム・ポリシー(CP: 教育課程編成・実施の方針)

<教育課程の編成と教育の内容>

理学部は、DPで示した人材を育成するために、以下のような方針でカリキュラムを編成しています。

1. 高等学校教育からの接続性を確保し、大学入学から卒業まで円滑で効果的な理学教育を実現する。
2. 原理的な学理を学ぶ機会を用意し幅広い応用力を身につけた人材を育成する。
3. 多様な分野の教育研究者の機動的な連携を強化することにより、幅広い学識を身につけた人材を育成する。

カリキュラムは共通教育科目と専門教育科目からなり、初歩から上級へ、原理から応用へ体系的に学べるように、年次進行に合わせて体系的に授業科目を配置しています。

また、学生の多様な好奇心を満たすために、各学科には履修コースとして主コースのほか複合コースを用意し、境界領域の教育にも力を注いでいます。全学的に設置されたスーパーサイエンス特別コースの運営にも参画し、次世代を担う、優れた国際的な研究者を育成しています。

さらに、学生みなさんに履修活動の自由度を保証して知的好奇心を満たすために、多彩な選択科目を配置するだけでなく、

1. 複数のコースの中から履修コースが選択できる(1年次末)
2. 学内外から招聘された第一線級の教員による特別講義が履修できる
3. 他大学の単位互換科目だけでなく、他学部・他大学および海外の大学の科目が履修できる
4. 多様なキャリア教育プログラムを用意し汎用的能力を涵養するとともにキャリア意識を持つことができる

ようにしています。また、早期卒業のための履修制度もあり、他コース、他学科、他学部、他大学への移籍についても柔軟な対応をしています。

<教育方法と成績評価>

講義、実験・実習、体験学習、ディスカッション・グループワーク、Eラーニングなど、学科ごとの教育目標に応じて最適な形式の授業を実施します。授業時間外学習のための十分な時間を確保するとともに、時間外学習を支援するツールを用意します。全ての授業において、明確な評価基準に基づき、筆記試験・レポート・実技・口頭試問などの方法による厳正な成績判定を実施します。

<カリキュラムの評価>

授業アンケートに加え、入学者アンケート、卒業生アンケートなどの学生調査や各種データの分析を行い、個別の授業科目の教育効果を測るとともに、学習の到達目標が達成されているかどうかを検証します。

学部のディプロマ・ポリシー(DP:卒業認定・学位授与の方針)

<学部の教育理念と教育目的>

科学は、数理、自然および生命を支配する原理や法則を探求する学問です。科学は人類共有の知的財産として文化文明の基礎を成していることはいまでもありません。科学の対象は「未知なるもの」といえるでしょう。これを様々な原理や法則で解明することにより、新たな発見にたどりつきます。「未知なるもの」は科学の発展とともに絶えず新しく生まれ、研究室や実験室のような特別の場所だけでなく、町工場、医療現場、生活環境など至る所に見出すことができます。科学を発展させ、新しい知を生み出す原動力は、未知に対する飽くなき好奇心と、未知を明らかにしようとする不屈のチャレンジ精神です。「未知への挑戦」ーこれが自然科学の原点です。この原点に立って、「科学で未来を拓く」人を育て、技術、企画開発、研究、教育など様々な分野に供給することによって、社会の未来を科学で拓くことが理学部の教育事業の目的です。

＜育成する人材像＞

本学部では、学生が体系的な基礎学識を持ち、科学的原理に基づいた汎用能力を獲得することを目指し、教育を行っています。卒業生は、深い探究力と幅広い応用力を身につけた人材として社会の様々な分野で活躍するために、一職業人として必要な知識や技能だけでなく、人間性、社会性、国際性ほか、一市民としての高い教養を身につけることも求められます。理学部では、体系的に配置された教育を通して、こうした能力を身につけた卒業生を輩出することを目指します。

＜学習の到達目標＞

1. (科学的知性) 科学の基礎知識と技能を習得して自己の中に体系化できている、それを基盤にして自律的に知的能力を発展させることができる。
2. (科学的解決力) 科学的原理に遡って対象の本質を分析し、討論と実証的な調査・研究を通じて課題を解決に導くことができる。
3. (科学する者の自覚) 社会、文化、地球環境の観点から科学・科学技術の役割と責任を論じることができる。

＜卒業認定・学位授与＞

理学部の教育目的に基づく教育課程を修め、規定する期間以上在学し、厳格な成績評価に基づき所定の単位を修得し、卒業要件を満たした学生に対して、卒業を認定し学位(学士)を授与します。